

省エネルギー活動



塚越 隆啓

(株)山武 藤沢工場
環境安全グループマネージャー
環境カウンセラー

「家でも軽量瓦、床下の炭、窓の空気入りフィルム塗布、簡易な床暖房、軒へのよしずなど省エネを実践しています。」

省エネ活動についての考え方

山武は制御の会社ですが、過剰な空調は不快でエネルギーの無駄と考えています。断熱を良くし、自然対流によって、頭寒足熱をこころがける。木陰でそよ風を感じるような快適さが制御のポイントです。二重窓、よしず、扇風機、屋根の採光、余分な照明はなくすなどが、その具体策です。快適さと省エネが両立する空調が理想です。省エネは決して我慢することではなく、快適さの一つのゴールです。



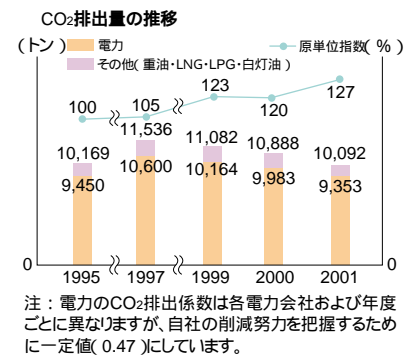
藤沢工場
平成13年度 エネルギー管理優良工場(電気部門)
関東経済産業局長賞

CO₂排出量の削減

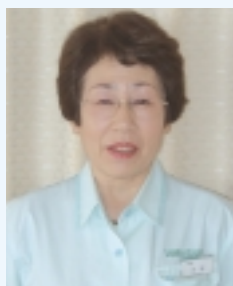
藤沢・湘南・伊勢原の主要3工場では、CO₂排出量の中で電力消費量が92%を占めています。1996年には藤沢工場に研究開発棟を建設したため、電力消費量が急増しましたが、その後の継続した省エネへの取り組みにより、今年度は建設前のレベルより下げることができました。

また、暖房用の燃料として、重油からCO₂排出量のより少ない都市ガスやプロパンガスへの転換を促進しています。

各サイトごとのデータは
ホームページをご覧ください。



省エネ活動の取り組み事例



吉野 一美

山武コントロールプロダクト(株)
総務グループマネージャー

「省エネと快適さの両立は難しい課題ですが、避けて通ることはできません。両立できる施策を今後も探していきます。」

山武コントロールプロダクトでは、各種プリント基板などのエレクトロニクス製品と、モールド・ダイカスト部品などのメカニカル製品を生産・販売しています。1997年9月にISO14001の認証取得を契機に、本格的な省エネルギーの取り組みに着手しました。

まずはエアリーク防止対策、こまめな消灯、冷房の温度設定26℃、OA機器不使用時の電源オフなど、すぐにできることから始めました。次に、投資と準備が必要となるコンプレッサの台数制御、空調機を制御するデマンドコントローラ、プラスチック成型機などの省エネ機器の導入を計画的に実施してきました。これらの取り組みを積み上げ、2001年度の

CO₂排出量は1995年に比べ、14.7%削減することができました。

2002年度は、重油からCO₂排出量の少ないブタンガスへと全面的に切り替えるとともに、昨年導入した省エネモニタリングシステムを使って、個々の従業員が成果を把握しながら取り組めるようにするなど、さらに積極的に省エネに努めていきます。

